



平成29年7月1日現在
 総世帯数 7,459世帯
 総人口 16,883人
 男 8,428人
 女 8,455人

第43回 芳川体育大会が開催されました。

報告編

7月9日(日)、芳川地区体育大会が開催され、大いに盛り上がりました！
 今大会はすべての町会が種目別優勝を果たすというレベルの高い大会となりました。
 今年度よりニュースポーツがオープン種目として開催をされ、白熱した試合が繰り広げられました。



新種目「ニュースポーツ」参加者にインタビュー！
 ニュースポーツと聞くとどんなものかわからなかったのですが、囲碁ボードや室内ペタンクなど、年齢性別関係なくチームが一丸となって戦え、心地の良い汗をかくことができました。



総合優勝は村井町町会！ 第40回大会以来の総合優勝となりました！

総合優勝………村井町町会
 総合準優勝………野溝町町会
 三位………小屋町町会

種目別優勝

野球	小屋町会
バレーボール	野溝町会
卓球	村井町町会
ソフトボール	
Aブロック	木工町会
Bブロック	美芳町町会
ゲートボール	小屋町会
マレットゴルフ	北原町町会
ソフトバレーボール	
39歳以下の部	木工町会
40歳以上の部	野溝町会
玉入れ	平田町会
水入れ	野溝町会
ニュースポーツ (オープン種目)	長丘町町会



長野県中学校総合体育大会 筑摩野中学校 結果報告

男子ソフトテニス	中川 雄貴・嘉納 広大ペア (1位 県大会出場)
	橋倉健太郎・武居 翔映ペア (ベスト16 県大会出場)
女子ソフトテニス	林 来幸・中屋 杏実ペア (ベスト16 県大会出場)
女子卓球	山本 綾 (ベスト16 県大会出場)・柏原 有紗 (ベスト16 県大会出場)
柔道	櫻井 亮弥 (3位 県大会出場)
水泳	
男子50m自由形	中野 光 (1位 県大会出場)・小池 豪太 (7位 県大会出場)
男子100m自由形	中野 光 (1位 県大会出場)・小池 豪太 (4位 県大会出場)
	鈴木 玲音 (19位 県大会出場)
男子100m平泳ぎ	鈴木 玲音 (10位 県大会出場)
男子400m自由形	堺澤 隼人 (1位 県大会出場)
男子1500m自由形	堺澤 隼人 (1位 県大会出場)
男子400mメドレーリレー	中野 光・鈴木 玲音・堺澤 隼人・小池 豪太 (2位 県大会出場)
男子400mフリーリレー	小池 豪太・鈴木 玲音・堺澤 隼人・中野 光 (2位 県大会出場)
男子バレーボール	(4位で県大会へ)
男子ソフトテニス	(2位で県大会へ)
サッカー	(3位で県大会へ)
軟式野球	(2位で県大会へ)



中信地区大会を勝ち上がり 県大会へ挑む!! 頑張れ筑中!!

(県大会出場種目のみ掲載)

塩原防災防犯協会会長インタビュー

今年度より芳川防災防犯協会の会長になられた塩原孝司さんに聞きました。

Q. お住まいはどこですか？

A. 野溝に住んでいます。24歳から消防団に入団し、平成22年から6年間松本市消防団の副団長をしていました。

Q. 芳川地区の防災防犯の現状をお聞かせください。

A. 町会単位での取組みがされていると感じています。しかし、事件や災害はいつ起こるかわからないものであるため、防災防犯協会会長として引張っていきたいと思っています。

Q. 意気込みを聞かせてください。

A. 人材育成に力を入れ、防災防犯のスペシャリストを養成したいです。また、私自身心理カウンセラー

村井町

筑摩野中学校

「地域防災教室」レポート

長野県中部地震から丸6年になる6月30日(金)に村井町第一公民館において筑摩野中学校に通う村井町町の生徒100名を迎え地域防災教室が行われました。



3グループにわかれ、救急救命放水訓練、簡易発電機操作を20分交代で行いました。生徒からは、「身近な所で災害が起きています。このような訓練は大切と思う。」との感想がありました。



ラー等の資格があるので、災害時のメンタルケアについても広めていきたいです。

Q. 今年度の芳川地区総合防災訓練について教えてください。

A. 今年度の芳川地区総合防災訓練は、9月24日(日)芳川公園を主会場に開催を予定しております。宮澤前会長のやり方を引き継ぎ、さらに良いものを実施できればと考えています。皆様是非ご参加ください。

美芳町

防災教室

6月30日美芳町会館で防災教室が実施され、筑摩野中学校の生徒21人が出席しました。

榊原町会長の講義の中で災害時における家族の話し合いが行われていることや、人を助けることも大事だが、まずは自分の命を守る



とが大事とあり、生徒からは「ためになった」との感想も聞かれました。

祝平田駅開業10周年

5月27日、晴天のもと盛大に記念祝賀式典が開催されました。

アトラクションでは芳川小学校合唱部のみなさんをはじめとする芳川にゆかりの方々に出演いただくとともに、穂高駅間往復の記念列車も運行され、多くの方に参加いただきました。



平田駅と同じく10歳を迎えた山口純平くん(左)と加賀谷海心さんが1日駅長を務めました。

芳川公民館報告冊版を発行します

平成29年1月30号で、公民館報が400号を迎えました。

芳川公民館報には、変貌する芳川の姿、町会・公民館活動、伝統行事や習俗などが記され、芳川の今昔を知り、未来を展望する上で貴重な史料でもあります。

そこで、芳川地域づくり協議会での議決を経て、この度201号から400号までの合冊版を発行することになりました。

- 発行予定 29年秋
- 体裁 A4版約400頁
- 発行部数 300部の限定販売
- 頒布価格 一冊4000円
- 購入申込 8月30日までに芳川公民館へ

芳川の今昔物語

第23話

二区堰

昭和39〜40年にかけて、二区堰はコンクリート水路に改修された。平成4年8月、野溝・平田で「県営緑農住区開発関連土地盤整備事業」によりほ場整備され、平成7年12月に竣工。



▲平成29年7月9日撮影



▲撮影年不明

現在は

平成7年12月に竣工した基盤整備事業で、堰の両側に道路とフェンスが設置され、手前は分水場の沈砂池が設けられ、広くなっている。

たちばなし

梅雨の語源は、梅の実が熟す頃の雨からきた「梅雨説」と長雨で、霪(ひび)が生える所からの「霪雨」が後に語感が悪いから霪のバイが梅のバイに変わったという「霪↓梅雨説」があるようです。

その呼び名の梅雨が日本に伝わり、その後日本で江戸時代頃、漢字はそのまま「梅雨」で「つゆ」と呼ぶようになったそうです。

梅雨の時期が始まることを、梅雨入りや入梅といい、社会通念上、気象は春の終わりであるとともに夏の始まり(初夏)になるよう、これは水を必要とする田植えの時期の目安とされています。また、梅雨が終わることを、梅雨明けや出梅(ひら)といい、これをもちて本格的な夏(盛夏)の到来とすることが多く、ほとんどの地域では梅雨入りや梅雨明けの発表を行っています。

今年の夏は、超スーパー猛暑になると予測されているようです。ゲリラ豪雨も発生するでしょう。

皆さま、体調管理(睡眠や水分の補給)、早めの対策等お気をつけて下さい。